

【キャンプファイヤー】

「自主活動」または「有料講師」



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



内容

キャンプファイヤーは、焚き火を囲んで行われる活動です。自然の中で過ごす夜、火のぬくもりとともに仲間との親睦を深めたり活動をふりかえる時間を過ごしたりします。

活動に必要なもの

- ・団体（個人）で用意するもの
 - ①キャンプファイヤー用薪 1束 1500円（3～4束で約1時間）
 - ②トーチ 1本 280円（持込みでも可能）
 - ③灯油 500mL 100円（必要に応じて）
 - ④肌の露出しない服装
 - ⑤軍手
 - ⑥懐中電灯
 - ⑦チャッカマン等
 - ⑧新聞紙等
- ・交流の家で貸出可能なもの
 - ①アンプ
 - ②CDプレーヤー
 - ③マイク
 - ④延長コード

活動前の準備

- ・入所の受付時に、実施場所や活動時間等の確認を行う。
- ・講師を依頼した団体は、活動開始前に講師と打ち合わせを行う。
（※講師との打ち合わせ場所と時間は、事前に団体が講師と決定しておく。）
- ・野外備品使用報告書を食堂売店へ取りに行く。（17：00まで）
- ・貸出希望物品を事務室へ取りに行く。
- ・活動場所で、薪組みや用具の準備を行う。

活動の流れ

【活動中】

- ・会場までの移動時間等も考慮した上で、20時30分には終了できるように開始する。
（※交流の家としては決まった流れはありません。）

【活動終了後】

- ①灰や燃え残った薪はそのままの状態で、「煙突カバー」をかける。
- ②使用しなかった薪や灯油を薪置き場に戻す。
- ③貸出物品を事務室に返却する。

【翌朝（7：00までに）】

- ④「煙突カバー」等を元の位置に戻す。
- ⑤灰を「灰捨て場」に捨てる。
- ⑥片づけが全て終了したら、事務室へ報告する。

留意点

- ・R7年度まで、活動前に職員との打ち合わせを行っていましたが、R8年度より、打ち合わせは原則行いません。HP掲載の活動マニュアルを必ずご確認ください、不明点等ございましたら、交流の家までお問い合わせください。
- ・チャッカマンや新聞紙等、着火に必要なものについては、団体で準備をしてください。（交流の家からの貸し出しは行っていません。）
- ・台座、カバーは大人4名程度で移動をしてください。（子供不可）
- ・60cm以上の大きすぎるまき組み、過度の灯油使用は安全上お控えください。
- ・トーチ棒の灯油の浸しすぎに気をつけてください。（※500mLあれば十分活動できます。）
- ・やけど等に注意するため、肌の露出が少ない服装で活動してください。
- ・火の近くには近づかないように気をつけてください。
- ・電源や灰捨て場については、HPをご確認ください。
- ・雷、強風、大雨など天候の変化がありましたら、途中でも切り上げてください。
- ・安全上職員が中止の判断をすることがあります。